

# 生徒指導の充実

—児童生徒一人一人のより良い発達を願って—

小・中学校教育…… 8 ページ

高等学校教育……16ページ

養護教育……33ページ

資料1 平成元年の少年非行 (県警本部防犯警ら部少年課調べ)

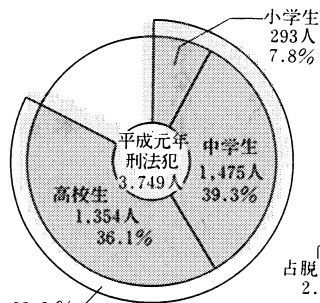
区分		年別	平 元	昭 63	増 減	%
非 行 少 年 等	非 行 少 年	犯罪少年	2,849	3,889	△ 1,040	△26.7
		触法少年	900	987	△ 87	△ 8.8
		小 計	3,749	4,876	△ 1,127	△23.1
	特 別 少 年	犯罪少年	416	683	△ 267	△39.1
		触法少年	6	12	△ 6	△50.0
		小 計	422	695	△ 273	△39.3
	計		4,171	5,571	△ 1,400	△25.1
	ぐ 犯 少 年		34	47	△ 13	△27.6
	不 良 行 為 少 年		14,347	21,469	△ 7,122	△33.2
	総 計		18,552	27,087	△ 8,535	△31.5

△は減少を示す。

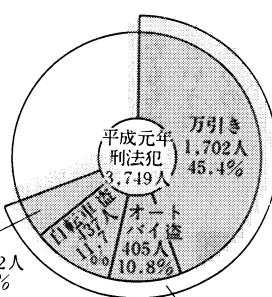
はじめに  
平成元年に県内で補導された少年は、一万八千五百五十二人で、前年に比べ八千五百三十五人(三十一・五パーセント)と大幅に減少したが、依然として高い水準にある。  
本県における少年非行の特徴的な傾

生徒指導の効果的な実践  
—小・中学校—

資料2 刑法犯少年の学職別構成



資料3 刑法犯少年の初発型非行



(県警本部防犯警ら部少年課調べ)

向は次のようである。  
○刑法犯少年は、前年に比べ千百二十七人と大幅な減少を示している。(資料1参照)  
○刑法犯少年のうち、小・中・高校生の非行が全体の八割以上を占め、中・高校生が依然として非行の中心をなしている。(資料2参照)  
○万引きや乗物盗などの初発型非行が